

# 公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	R3 - 2
事業種別	漁港海岸事業	事業主体	青森県
事業名	海岸保全施設整備事業(高潮対策事業)	管理主体	青森県
箇所名等 (市町村名)	大畑漁港 (むつ市)	事業方法	○ 国庫補助 ● 交付金 ○ 県単独
		財源・負担区分	●国50% ●県50% ○市町村 % ○その他 %
事業の背景・必要性	<p>本海岸の背後には、人家の密集と地域の主要なアクセス道として利用されている国道279号があり、低気圧等の波浪時には護岸からの越波で背後の人家等が浸水する被害が発生していた。このため、人工リーフ及び離岸堤を整備し、越波浸水被害を防止することで海岸背後地の生命、財産の保全を図ったものである。</p>		
主な事業内容(事業量)	<p>人工リーフ4基 L=620m 離岸堤1基 L=191.8m</p>		
想定した事業効果	<p>《金銭価値化が可能な効果》 (1)浸水防護便益 ・人工リーフ等の整備に伴い、護岸からの越波が解消し、背後の人家等の浸水被害がなくなる。</p> <p>《その他の効果》 -</p>		
事業の実施経過	<p>《事業着手》平成22年度 《用地着手》- 《工事着手》平成22年度 《事業完了》平成28年度</p>		
公共事業評価の実施時期	事前評価時(H21年) 〔当初計画時〕	再評価時(一年)	事後評価時(R3年) 〔最終実績〕
事業期間(事業着手～事業完了)	H22 ~ H26	~	H22 ~ H28
総事業費	2,370 百万円	- 百万円	1,843 百万円
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H24年)	第 回計画変更(一年)	第 回計画変更(一年) 第 回計画変更(一年)
事業期間(事業着手～事業完了)	H22 ~ H26	~	~
総事業費	2,370 百万円	- 百万円	- 百万円
特記事項	<p>当初は、人工リーフ6基を新設する事業計画を策定したが、事業着手後の詳細設計に基づき、平成24年に人工リーフ4基及び離岸堤1基に変更した。実績事業費は、既存の消波ブロックを一部流用するなどのコスト削減を図った結果、計画事業費に比べて減となった。</p>		
《事業概要図》			
担当部課室名	農林水産部 水産局 漁港漁場整備課	電話番号	017 - 734 - 9614
		E-MAIL	gyoko@pref.aomori.lg.jp

## 事業効果の発現状況の捉え方について

＜担当課：農林水産部水産局漁港漁場整備課＞

事業名	事業の背景・必要性（目的）	事業効果の発現状況
大畑漁港海岸保全 施設整備事業  ＜事業内容＞ 人工リーフ 4 基 (L=620m)  離岸堤 1 基 (L=191.8m)	本海岸の背後には、密集した人家と地域の主要なアクセス道である国道 279 号があり、低気圧等の波浪時には護岸からの越波で背後の人家等が浸水する被害が発生していた。  このため、人工リーフ及び離岸堤を整備し、越波浸水被害を防止することで海岸背後地の生命、財産の保全を図ったものである。	<b>【想定した事業効果】</b> （既存） 《金銭価値化が可能な効果》 (1) 浸水防護便益 人工リーフ及び離岸堤の整備に伴い、護岸からの越波が解消し、背後の人家等の浸水被害がなくなる。  《その他の効果》 なし。  <b>【事業目的の達成状況】</b> 事業完成後の荒天時において、護岸からの越波を要因とした背後の人家等への浸水被害が確認されていないことから、事業目的は達成した。

## 調 査 概 要

事業名：海岸保全施設整備事業

箇所名：大畑漁港

担当課：農林水産部水産局漁港漁場整備課

## 調査概要

項 目	内 容	左記とした根拠
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・護岸背後に位置するむつ市大畑町二枚橋地区及び孫次郎間地区に居住の世帯。</li> <li>・護岸前面で操業する大畑町漁業協同組合所属の磯根漁業、小型定置網、底建網漁業を営む漁業者。</li> </ul>	事業着手前に断面検討のため開催したワークショップの参集範囲と同じく、本事業の主な受益者である護岸背後の住民と、護岸前面で磯根漁業、小型定置網漁業、底建網漁業を営む漁業者を対象とした。
配布数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布部数 187部</li> <li>・想定回収率 30%</li> </ul>	配布部数の内訳 二枚橋地区の世帯 82世帯 孫次郎間地区の世帯 36世帯 磯根漁業者 60人 小型定置網漁業者 3人 底建網漁業者 6人 <hr/> 計 187部  想定回収率は、平成30年度に行った同種事業の事後評価アンケートの回収率30.9%を参考として、設定した。
配布・回収方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二枚橋地区及び孫次郎間地区に居住の世帯には、それぞれの地区会長を通じて、直接配布・回収する。</li> <li>・各漁業者には、漁協を通じて、直接配布・回収する。</li> </ul>	事業着手前に断面検討のため開催したワークショップの開催案内と同じく、直接配布とすることで、回収率の向上を図る。

## 様式 7 (第 3 関係)

(青森県事後評価アンケート調査様式)

## 青森県が実施した海岸保全施設整備事業 大畑漁港海岸に関するアンケート調査

青森県下北地域県民局地域農林水産部

下北地方漁港漁場整備事務所

## 【アンケートの目的】

このアンケートは、青森県が平成 22 年度から平成 28 年度までに工事した「大畑漁港海岸保全施設整備事業」について、完成後の状況や効果をお聞きして、今後の同じような公共事業の計画や調査に役立てるために行うものです。

お忙しいところ恐縮ですが、以下のアンケートにご回答いただき、下北地方漁港漁場整備事務所あてに、令和 3 年〇月〇日 (〇) までにご提出 (ご送付) いただきますようご協力をお願いいたします。

なお、お答えいただいた内容につきましては、他の目的には使用いたしません。

## 【連絡先】

青森県 下北地域県民局地域農林水産部

下北地方漁港漁場整備事務所 担当 計画指導課 神、奈良岡

〒035-0073 青森県むつ市中央一丁目 1-8

むつ中央合同庁舎旧館 3 階

TEL : 0175-33-3052

FAX : 0175-22-2500

E-mail : sh-gyoko@pref.aomori.lg.jp

## 【事業概要】

## ■事業目的：

むつ市大畑町の二枚橋及び孫次郎間地区にある大畑漁港海岸の護岸の背後には、多くの住宅と地域の主要なアクセス道として利用されている国道 279 号などがありますが、高波が護岸を越えて背後の住宅や道路の一部が浸水するなどの被害が発生していました。

このような被害の解消を目的に、県では、護岸の背後にお住まいの地域の方々や、護岸の前沖で操業する漁業者の方々とともに考え、人工リーフと離岸堤を整備したものです。

## ■事業内容：

人工リーフ 4 基 (合計 620.0m)、離岸堤 1 基 (191.8m)

※ 人工リーフ、離岸堤とは、波の力を小さくする施設です。それぞれの形は、6 ページ「事業実施前と現在の状況」の上の図をご覧ください。

※ この事業で整備した人工リーフや離岸堤の形は、県が被害を解消する対策を検討するために開催した住民参加型のワークショップで、地域の方々から出された意見を踏まえて決定しています。

■事業費： 18 億 4 千 3 百万円

■工期： 平成 22 年度～平成 28 年度

■施設管理者： 青森県

【位置図・平面図】 別添のとおり

【事業実施前と現在の状況】 別添のとおり



■問7【必要度】 地域にとって、人工リーフや離岸堤を整備したこの事業は、必要であったと思いますか。

- |               |              |                     |
|---------------|--------------|---------------------|
| ① 必要であった      | ② おおむね必要であった | ③ どちらとも言えない (わからない) |
| ④ あまり必要ではなかった | ⑤ 必要ではなかった   |                     |

(その理由をお聞かせください。)

■問8【達成度】 この事業により人工リーフや離岸堤が完成した後、高波で背後の住宅や道路の一部が浸水する被害はありましたか。

- |           |          |         |
|-----------|----------|---------|
| ① 被害はなかった | ② 被害があった | ③ わからない |
|-----------|----------|---------|

(②を選択された方は、被害の回数を教えてください。)

■問9【管理状況】 この事業で整備した人工リーフや離岸堤は県が管理しておりますが、管理は適切に行われていると思いますか。

- |            |          |                     |
|------------|----------|---------------------|
| ① 適切       | ② おおむね適切 | ③ どちらとも言えない (わからない) |
| ④ あまり適切でない | ⑤ 適切でない  |                     |

(その理由をお聞かせください。)

■問10【環境変化】

人工リーフや離岸堤の整備により、大畑漁港海岸周辺の環境の状況は、事業実施前と比べてどう変化したと思いますか。

※「環境」とは、動植物、森林、河川、海岸などの「自然環境」のほかに、水質や騒音・振動などの「生活環境」、景観や遺産などの「歴史的・文化的環境」も含まれます。

- |           |           |                     |
|-----------|-----------|---------------------|
| ① 良くなった   | ② やや良くなった | ③ どちらとも言えない (わからない) |
| ④ やや悪くなった | ⑤ 悪くなった   |                     |

(その理由をお聞かせください。)

■問 11【改善点】

この事業で整備した人工リーフや離岸堤について、改善した方がよいと思う点がありますか。

① 改善点がある      ② 改善点はない      ③ どちらとも言えない（わからない）

（その内容をお聞かせください。）

■問 12【その他効果】

この事業を行ったことで、砂浜が広くなり散歩しやすくなったなど、「事業目的」に掲げたもの以外に効果があったと思いますか。

※この事業の「事業目的」は、1ページ目の【事業概要】に記載しております

① 効果があった      ② 効果はなかった      ③ どちらとも言えない（わからない）

（その内容をお聞かせください。）

■問 13【その他意見（アンケート対象事業）】

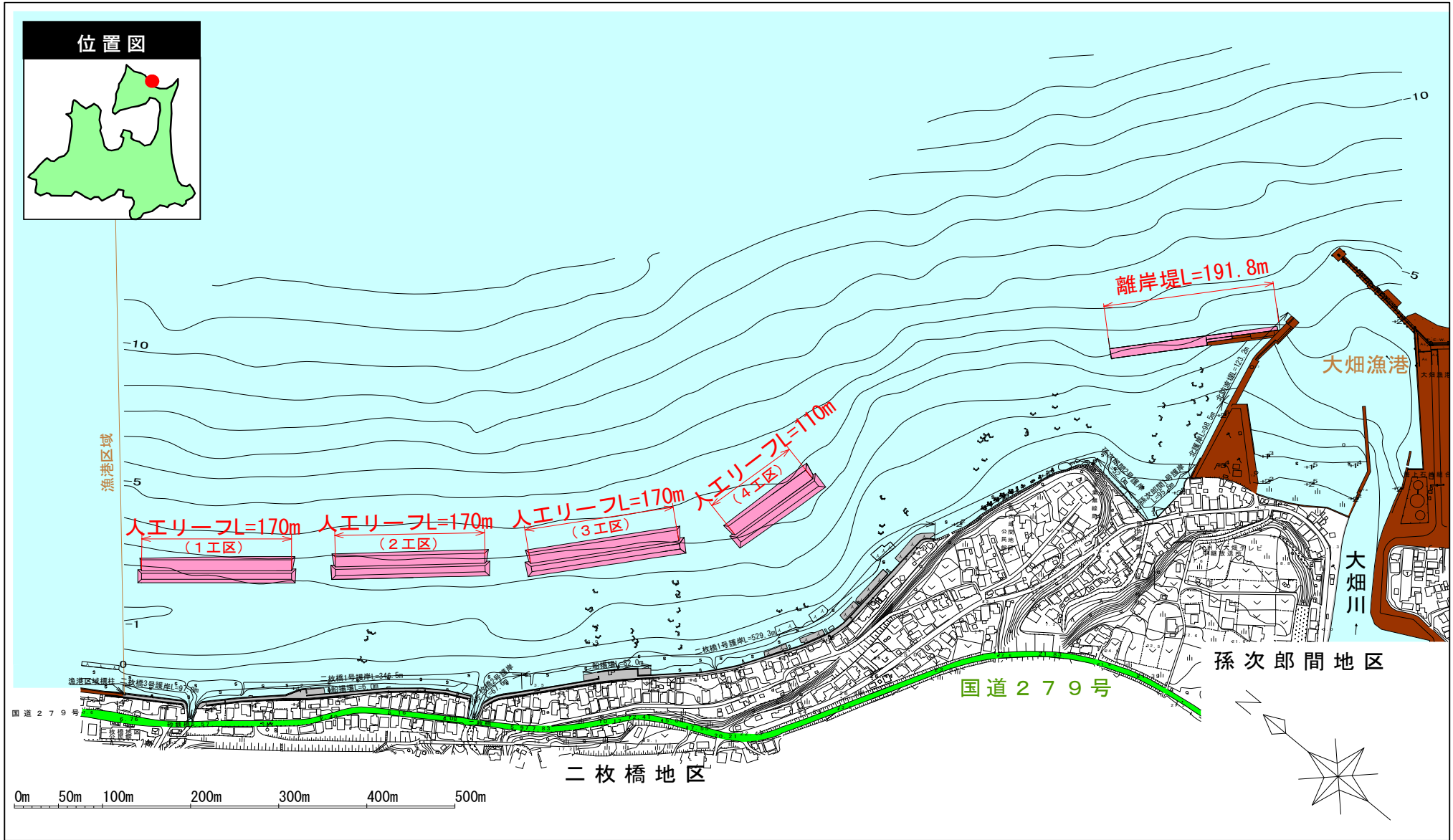
この整備に対して、その他のご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

■問 14【その他意見（公共事業全般）】

アンケート対象事業に限らず、海岸の整備など公共事業についてご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

以上でアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

# 大畑漁港海岸 位置図・平面図

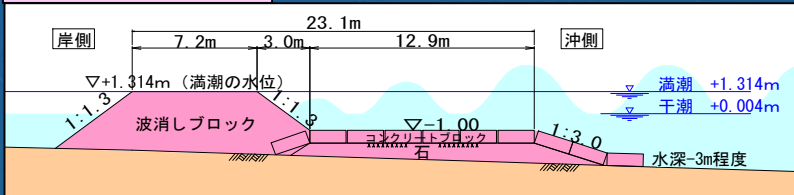




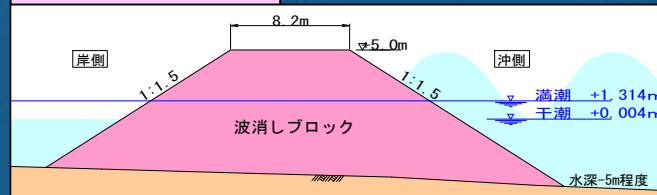
# 大畑漁港海岸 事業実施前と現在の状況

※この航空写真は、人工リーフや離岸堤の整備前（H23. 11月）に撮影したものです。

人工リーフの形



離岸堤の形



事業実施前（H19撮影）



現在（R2撮影）



事業実施の結果

整備前は、高波が護岸を越えて背後の住宅や道路の一部が浸水するなどの被害が発生していましたが、現在は、波が護岸を越えて浸水する被害が確認されていません。

現在の人工リーフ（R2撮影）



人工リーフは、地域の意見を踏まえ、波消しブロックがわずかに見える形にしています。